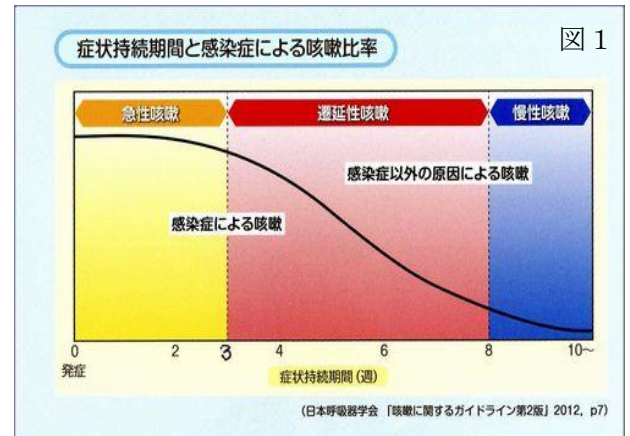


Vol.6 急性の咳（咳嗽）でお悩みの方へ

Q1.急性の咳ってどれくらいの期間を指すの？

咳（咳嗽）は持続期間で以下の3つに分類されています。

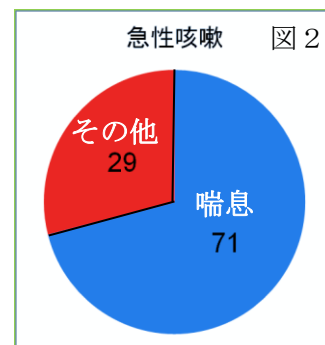
- ①急性咳嗽 3週間未満
- ②遷延性咳嗽 3週間以上8週間未満
- ③慢性咳嗽 8週間以上



Q2.急性咳嗽の原因は？

咳嗽に関するガイドライン第2版にも書かれているように、図1のように急性咳嗽の原因は“感染症による咳嗽”がメインと考えられています。しかし、当院のデータでは（図2）、急性咳嗽でも約70%が喘息が原因です。

感染症による咳嗽は治療の有無に関わらず、自然治癒しますので、慢性咳嗽の原因となる咳喘息・副鼻腔気管支症候群・胃食道逆流・アトピー咳嗽などの急性期症状としての急性咳嗽を見落とさないようにすることが大切です。喘息の咳の特徴はVol.1を参照下さい。



第113回日本内科学会講演会にて発表

Q3.原因の検索にどのような検査が必要ですか？

最低限以下の二つの検査が必要です。

①胸部 Xp

1週間以上持続する咳の場合は、見逃すと危ない肺炎・肺結核・肺癌などの鑑別のために必ず必要になります。いきなりCT検査までは通常不要です。

②呼気一酸化窒素(NO)検査（写真1）

Q2で述べましたように、原因として咳喘息の可能性が高いためこのNO検査はとても有用です。この検査は肺機能検査のように思いっきり頑張る必要はありません。一定の強さで約10秒息を吐き続けられればいだけですので、咳が結構でていてもほとんどの方で行うことができます。

喘息の方でも約10%は結果が正常範囲に出ていますので、結果の解釈には注意が必要です。



写真1

Q4.急性咳嗽の原因の感染症は？

さまざまなかぜのウイルスがおそらく感染症の原因の最多でしょう。インフルエンザも咳が遷延するウイルスの一つです。このインフルエンザ以外のかぜに対する根本治療薬はありませんので、治療は対症療法（鎮咳剤や去痰剤）となります。抗生剤は無効です。感染性の咳の場合、マスクをして他の人にうつさない“咳エチケット”が何よりも大切です。

ウイルス以外ではマイコプラズマと百日咳が重要です。ただ、インフルエンザと違い迅速診断することが困難な病気なため、疑いが濃厚な場合は抗生剤治療を優先します。しかし、成人の場合は抗生剤で治療しなくてもほとんどの場合自然治癒します。抗生剤での治療の目的は、どちらかといえば感染拡大の防止にあります。

Q5.急性咳嗽の治療は？

Q2でお話ししたように、急性咳嗽の原因の多くは実は喘息です。NO 検査等にて喘息が疑われた場合は、吸入ステロイドと気管支拡張剤の配合剤の吸入薬が効果的です。喘息による咳の場合、気管支平滑筋の収縮そのものが咳の原因となっていますので、吸入ステロイド単独ではなく気管支拡張剤の併用が望ましいのです。症状が重い場合は、経口のステロイド薬が必要になります。かぜでよく処方される鎮咳剤の強力なもの（コデインを含む薬）は痰を出しにくくするため、喘息の咳に投与したばあい症状を逆に悪化させることがあるため注意が必要です。漢方の麻杏甘石湯や五虎湯は喘息の咳に非常に有効です。

表1 吸入ステロイド/気管支拡張剤配合剤の種類

薬品名	シムビコート	レルベア	アドエア	フルティフォーム
				
利点	スマート療法	吸入しやすい	吸入しやすい	長期使用可能 粒子径が小さい
欠点	適切な吸入が難しい	嘔声ができやすい	1日2回吸入	呼吸との同調に慣れが必要

シムビコートはスマート療法として定期吸入と必要時吸入を1剤で可能だが、シムビコート以外では、必要時吸入としてサルタノールやメプチンエアーなどの併用が必須となります。

もとき内科クリニック

住所：藤沢市辻堂神台 1-3-39 村々ビル 4F

TEL:0466-47-8216

文：院長 大江 元樹